記者発表資料

平成２２年５月２７日
国土交通省東北地方整備局
能代河川国道事務所

5月29日(土)8時30分～

米代川水防演習が開催されます

いよいよ本番！　場所:能代市中嶋地先河川敷

平成２２年５月２９日（土）に能代市中嶋地先の米代川河川敷において、米代川水防演習※1が開催されます。

これは、国民の生命と財産を水害から守るため水防技術の向上及び関係機関の連携を踏まえた水防体制の強化を図るとともに、水防に対する地域の方々の理解と協力を求めることにより水害の未然防止又は軽減に資することを目的に、米代川流域等９市町村、消防機関、秋田県、国土交通省東北地方整備局の主催で実施されるもので、当日の演習参加人員（見学を除く）を約１，２００人と予定しており、本年度東北管内で行われる演習では最大規模となります。

昨年の１０月２２日に実行委員会を立ち上げ以来、演習実施に向け準備を進めてきましたが、５月２９日いよいよ本番を迎えます。

当日は、第１部の洪水対応演習、第２部のＭ７．７大地震を想定した総合防災訓練の２部構成で行う複合型災害対応訓練として実施するものであり、又、東北６県の代表水防団による「第５回水防技術競技大会」※2も併せて開催されます。

１．日　　時　　平成２２年５月２９日（土）　８時３０分～１２時３０分（予定）

２．実施場所　　秋田県能代市中嶋地先　米代川左岸河川敷
（別紙：会場案内図参照）

３．その他　　米代川水防演習の実施種目、時間等は別添の「米代川水防演習プログラム」を参照下さい。

※1水防演習：本格的な出水期に備え、「水防技術の向上」、「水防体制（情報伝達）の強化」、「地域住民の防災意識の高揚」を目的として各県持ち回りで開催され、今年で27回目の開催。米代川では平成４年に行われており、開催は１８年ぶり。

※2水防技術競技大会：
東北管内における水防団の水防技術と意識向上を図るとともに水防団への参加気運を高めることを目的に平成18年から開催。

《記者発表先》
・能代市記者クラブ
・大館市記者クラブ
・北秋田市記者クラブ

問い合わせ先

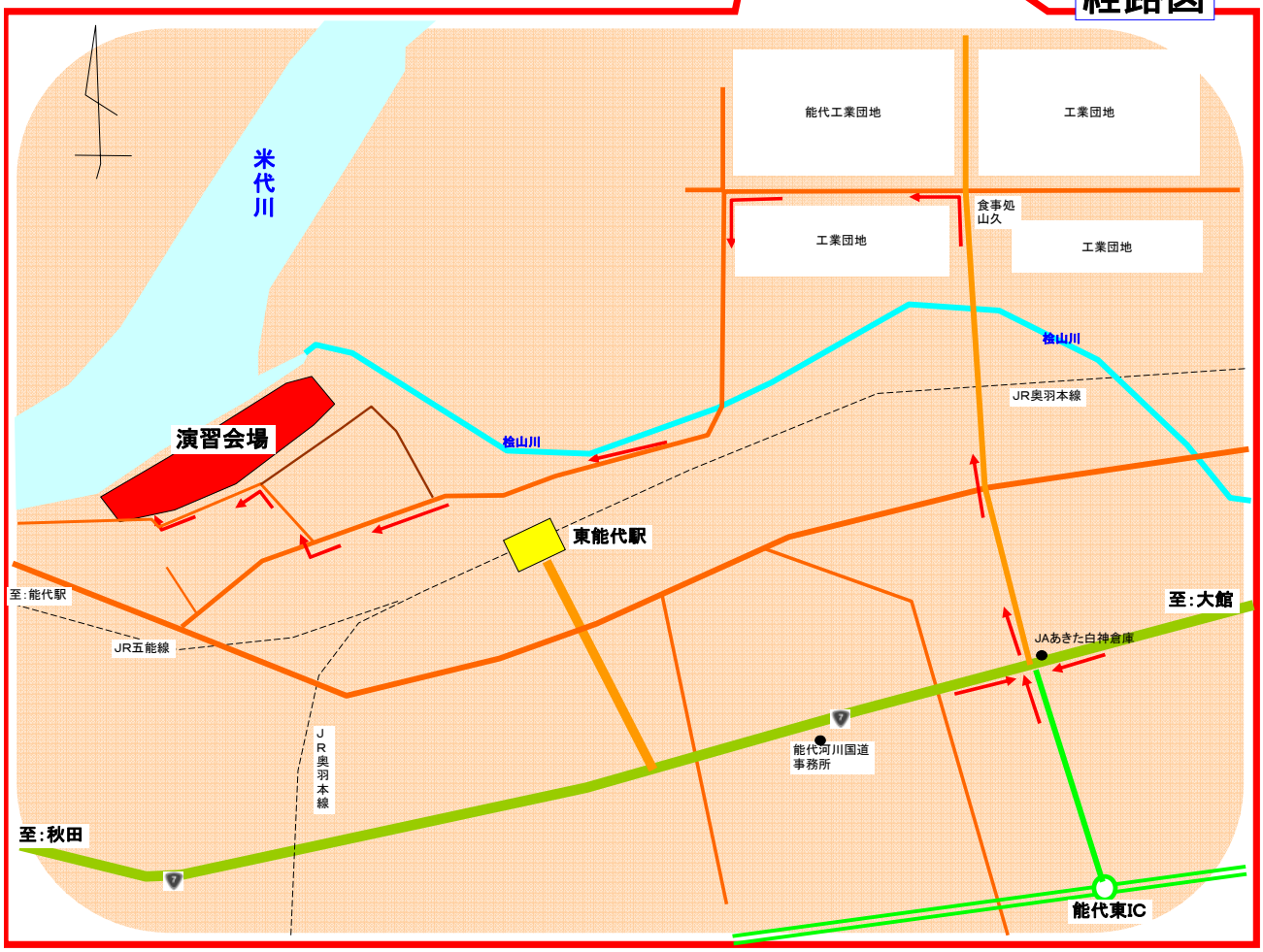
国土交通省東北地方整備局　能代河川国道事務所
電話（代表）０１８５－７０－１００１
副所長　武田　節朗（内線２０４）
河川管理課長 泉谷　敏広（内線３３１）

米代川水防演習（５月２９日）　会場案内図

場所：能代市中嶋地先　米代川左岸河川敷



経路図



会場までの交差点付近には、案内看板を設置しています。

◉ 米代川水防演習 《プログラム》

■ 開会式

8:20	集合・整列	
8:25	人員報告	
8:30	開会宣言	演習副本部長（秋田県建設交通部　県土整備技監）
8:32	国旗掲揚	
8:34	国土交通大臣　挨拶	
8:39	秋田県知事　挨拶	
8:44	演習本部長　訓示	秋田県建設交通部長
8:47	水防団宣言	総指揮者（能代市水防団長）
8:50	退　場	

■ 【第一部】米代川水防演習

8:55	演習想定発表	
8:58	災害対策本部設置	能代市
9:00	河川巡視・被災箇所発見	国土交通省
9:07	現地対策拠点設置	国土交通省
9:10	水防団出動	
9:15	木流し工 ①・シート張工 ②	第１中隊・第２中隊
9:20	応急給食訓練開始 ③	能代市水防団、能代市婦人防火クラブ、能代市赤十字奉仕団
9:25	釜段工 ④・月の輪工 ⑤	第３中隊・第４中隊
9:30	水防団激励・体験水防 ⑥	
9:35	積土のう工 ⑦	第５中隊・体験水防班（能代工業高校・鷹巣農林高校）
9:40	内水排除訓練 ⑧	国土交通省
9:55	避難訓練	能代市内町内会 等
10:07	災害対策本部解散	能代市
10:10	東北水防技術競技大会 ⑨	東北６県代表消防団

■ 【第二部】総合防災訓練

10:40	地震発生	
10:43	災害対策本部設置	能代市
	津波情報伝達訓練	秋田県警察本部・能代市・国土交通省
10:48	自衛隊派遣要請	能代市・秋田県・陸上自衛隊
10:54	火災消火訓練 ⑩ ⑪	能代市内町内会 等、能代山本消防本部 ＜別会場：サンピュー秋田＞
11:08	救助・救護訓練 ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	能代山本消防本部・陸上自衛隊・秋田県警察本部・日本赤十字社能代市山本郡医師会
11:28	緊急物資輸送訓練 ⑯	陸上自衛隊
	河川堤防応急復旧訓練 ⑰	能代山本建設業協会
11:43	ライフライン復旧訓練 ⑱ ⑲ ⑳	NTT 東日本・東北電力・秋田県 LP ガス協会
	応急給食配布	能代市水防団、能代市婦人防火クラブ、能代市赤十字奉仕団
	支援物資輸送訓練	イオンリテール、㈱伊徳、コメリ災害対策センター
11:58	災害対策本部解散	能代市

■ 閉会式

12:00	閉会式集合・整列	
12:05	東北水防技術競技大会表彰式・講評	
12:15	能代市長　挨拶	
12:19	国旗降納	
12:21	閉会宣言	演習副本部長（秋田県建設交通部　県土整備技監）
12:25	終了・退場	

米代川水防演習のポイント

1 総合防災を考慮した訓練の実施

地球温暖化の影響などによる異常気象や、今後想定される大地震への日頃の備えが重要です。
演習では各関係機関が連携しながら、「水防訓練」と「複合型災害対応訓練」を実施します。

2 住民参加による地域一体型水防演習

水防団以外の方々にも水防演習への参加や体験をしていただくことで、自らできる水防活動をご理解いただきます。また、情報の収集やコミュニティーを活用した対応方法をご紹介し、水防技術の知識と「自助・共助」の大切さを伝えます。

3 時代と地域性を考慮した水防工法の実施

米代川流域で従来から用いられている水防工法を、迅速かつ的確に実施することを通して水防団の技術向上を図り、災害の少ない安心して暮らせる流域を目指します。

4 第5回 東北水防技術競技大会の開催

東北各県の代表水防団が「シート張工」と「月の輪工」の作業を競い合います。

● お問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局
能代河川国道事務所

〒016-0121 秋田県能代市鰄渕字一本柳97-1
TEL.0185-70-1001（代表）
http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/

●主催／◆米代川流域等９市町村　能代市、北秋田市、大館市、鹿角市、藤里町、小坂町、上小阿仁村、三種町、八峰町
◆消防関係　能代山本広域市町村圏組合消防本部、北秋田市消防本部、大館市消防本部、鹿角広域行政組合消防本部
◆秋田県
◆国土交通省東北地方整備局

●協力／秋田地方気象台、陸上自衛隊、秋田県警察本部、秋田県能代警察署、日本赤十字社秋田県支部、能代市山本郡医師会、
㈳能代山本建設業協会、東北電力㈱秋田支店、東日本電信電話㈱秋田支店、秋田県ＬＰガス協会能代山本支部、イオンリテール㈱東北カンパニー、
㈱秋田伊徳、NPO法人コメリ災害対策センター、㈳東北建設協会、秋田県立能代工業高等学校、秋田県立鷹巣農林高等学校、秋田県立能代北高等学校、能代市内町内会 等

●後援／株式会社秋田建設工業新聞、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、株式会社大館新報社、河北新報社、共同通信社秋田支局、産経新聞社秋田支局、時事通信社秋田支局、
㈱秋北新聞社、日刊秋田建設新報社、日刊建設工業新聞東北支社、日刊建設産業新聞社、㈱日刊建設通信新聞社東北支社、日本経済新聞社秋田支局、北羽新報社、北鹿新聞社、
毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、エフエム秋田、秋田県防災協会、㈳建設広報協議会、
全国水防管理団体連合会、東北ダム事業推進連絡協議会、東北直轄河川治水期成同盟会連合会、㈳日本河川協会、㈳日本建設機械化協会東北支部、秋田内陸縦貫鉄道株式会社

強い絆と知識で
生命と財産を
災害から

守れ！

米代川流域の生命と財産を守る「複合型災害対応訓練」

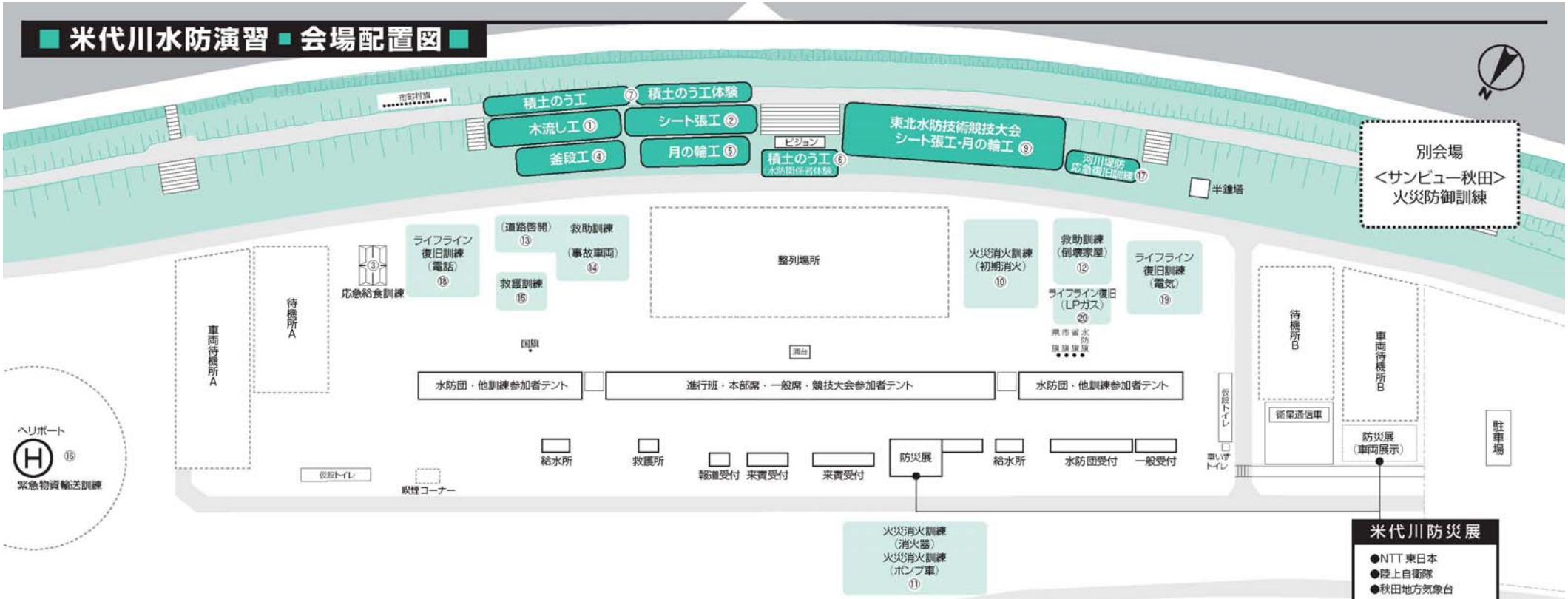
米代川水防演習

プログラム

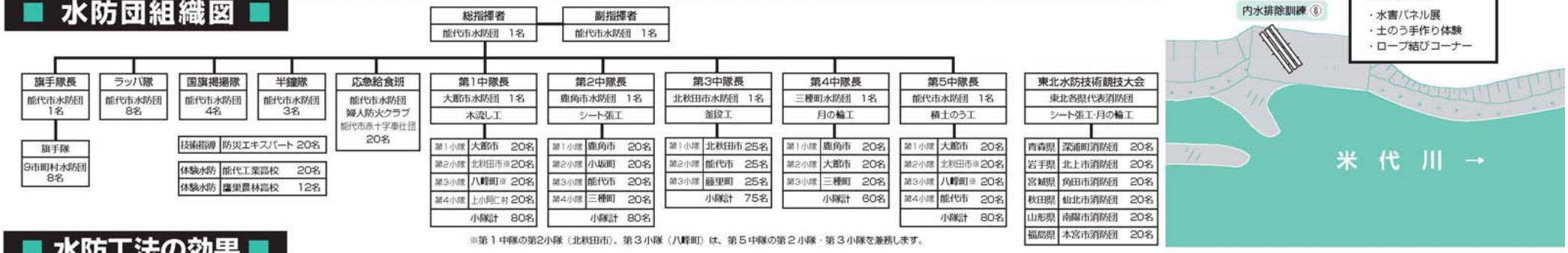


日時 **5月29日(土)** 8:30～12:30　場所 **能代市中嶋地先（米代川左岸河川敷）**

■ 米代川水防演習 ■ 会場配置図 ■



■ 水防団組織図 ■

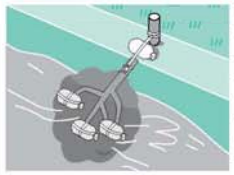


※第１中隊の第2小隊（北秋田市）、第３小隊（八峰町）は、第５中隊の第２小隊・第３小隊を兼務します。

■ 水防工法の効果 ■

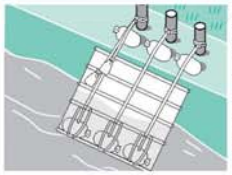
洗掘防止工法

①木流し工



■強い川の流れで堤防が削られている場合に、重し土のうをつけた枝葉の多い木を堤防の削られているところへ流し入れることで、あたる水の勢いを弱め、堤防が崩れるのを防ぎます。

②シート張工



■堤防が崩れ始め水が浸透し始めた場合に、重し土のうをつけたシートを堤防の削られているところへ垂れ降ろすことで、堤防が崩れるのを抑え、堤防への浸水を防ぎます。

漏水防止工法

④釜段工



■堤防の近くの平場などに漏水した水が吹き出している場合に、漏水の噴出口を中心に土のうを積み上げて水を貯え、その水圧によって噴出をおさえます。堤防から少し離れた場所での漏水に用います。

⑤月の輪工



■堤防の裏側などに漏水した水が噴き出している場合に、土のうを半月型に積み、鉄の杭などを刺し補強します。その中に水をため、その水圧で水が漏れることを防ぎます。堤防に近い場所での漏水に用います。

越水防止工法

⑦積土のう工



■増水した川の水が、堤防を越えそうな場合に、堤防の川側の縁に土のうを積み上げることで、川の水が堤防を越えることを防ぎます。補強のため、鉄の杭を刺します。